

2022年8月31日

京都府知事  
西脇隆俊様

## 施設留め置きの完全解消等を緊急に求める要請書

平素より、京都府民の生命と健康、福祉増進に向けてご尽力賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、第6波（2021年末～）の最中である2022年3月、京都府の「人口あたりの新型コロナウイルス死者数」がワースト1を記録。高齢者をはじめ社会福祉施設入所者が入院できず留め置かれ、死亡する事例も府全域で50人確認されました。第6波が収束したのか否かさえ判然としないまま、7月には「第7波」に突入。その勢いは凄まじく京都府でも過去最高の新規陽性者数を記録、自宅療養者数は6万人を超え、実に1,000人近い陽性患者さんが社会福祉施設等に留め置かれています。

私どもは去る7月29日、貴職に対し「声明」をお届けし、担当課の皆様との懇談の機会もいただき、現場の過酷な実態をお伝えしましたが、その後もまったく事態は好転していません。

高齢者や障害のある人たちはじめ、入院できない事態は深刻な人権侵害です。

緊急に下記の項目を要請いたします。至急の対応をいただかないと、医療にさえつながらなければ助かるはずの方が死亡する事態が拡大するばかりです。

よろしく願いいたします。

### 記

1. 入院コントロールセンターによるトリアージの基準を府民に公開すること
2. 感染した場合に重症化率・致死率が高い高齢者、障害のある人へ入院医療を確実に保障する入院コントロールを行うこと
3. 東山サナトリウムに移設した「臨時的医療施設」110床を即座にフル稼働すること
4. 他府県にならい、高齢者、障害のある人のための療養施設を即座に設置すること
5. 市町村役場や区役所も動員し、自宅療養中の患者の急変を公的機関として察知できる体制を構築すること
6. より多数の地域の医療機関が自宅療養者や福祉施設への医療提供に踏み出すよう医療機関への支援と連携を強めること

以上

高齢者・障害者施設におけるコロナ患者留置問題を考えるミーティング呼びかけ団体  
社会福祉法人七野会 京都民主医療機関連合会 京都社会保障推進協議会  
きょうされん京都支部 京都府保険医協会